

短時間・短日数正社員制度の導入によりワーク・ライフ・バランスを実現 株式会社ファミリースーパーマルキ

会社概要

本社所在地	岐阜県山県市
設立年	1983年（昭和58年）
事業の種類 具体的事業内容	小売業 スーパーマーケット業
従業員数 55歳以上の高年齢者率	290名 41.7%
定年年齢	定年なし
継続雇用制度	

株式会社ファミリースーパーマルキは、岐阜県中濃地方を中心に、青果・精肉・鮮魚・惣菜の生鮮品と一般食品・日用雑貨品の小売販売（食品スーパー）を展開している。昭和58年に美山店を開店、そこから増床、改装、新店舗開店等を重ね、現在は岐阜県内に美山店（本店）、高富店、武芸川店、稲口店の4店舗を構える。「正直者が馬鹿を見ない会社づくり」「お客様第一主義と社員第一主義」を経営理念に掲げ、地域の食生活をサポートし、人々の幸せに貢献できるお店作りを目指している。



店舗外観

雇用の概況

合計	44歳以下	45～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳～69歳	70歳以上
290名	94名	75名	58名	42名	17名	4名
100.0%	32.4%	25.9%	20.0%	14.5%	5.9%	1.4%

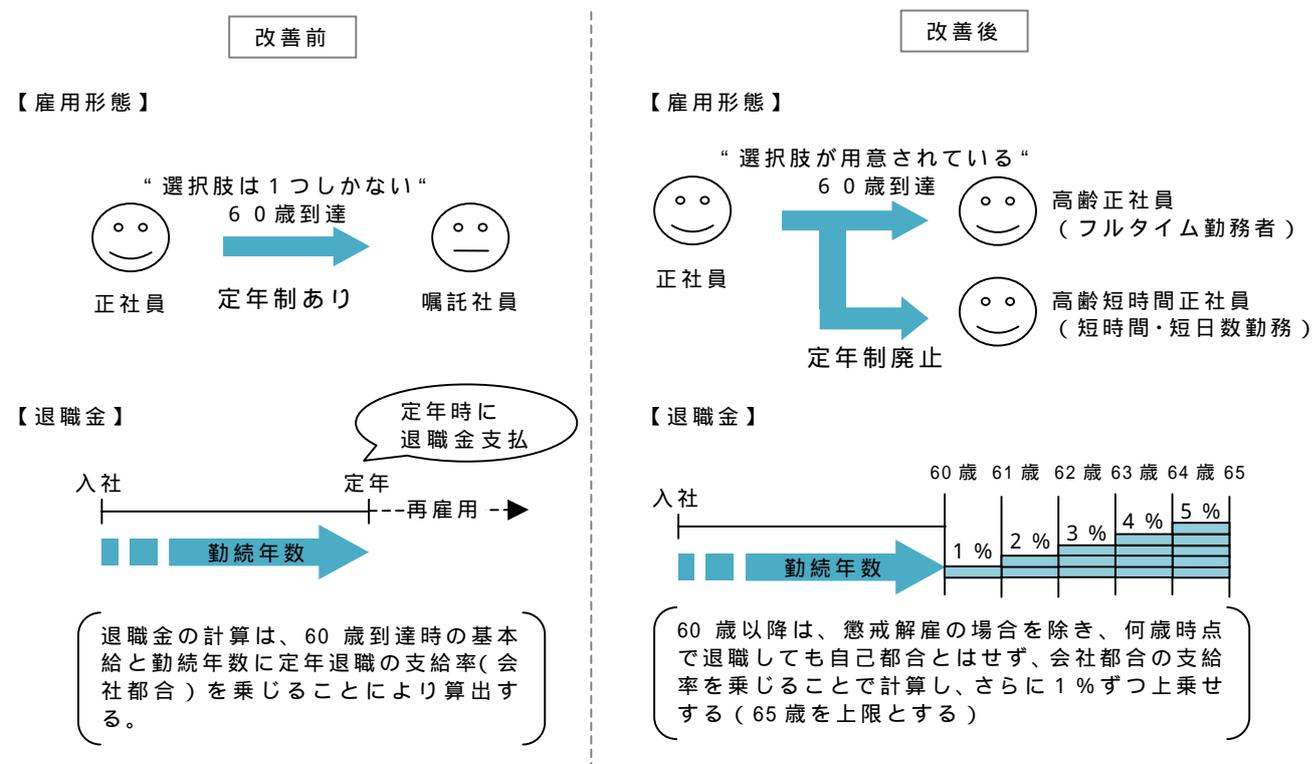
従業員数は、平成21年9月現在、正社員とパート社員・嘱託社員を合わせて約290人いるが、その8割超をパート社員・嘱託社員が占め、正社員は一部の基幹社員に限られる。全従業員の平均年齢は48.8歳と高く、60歳以上の従業員は合計63名、全体の21.7%を占めるまでに高齢化が進んでいる。正社員の平均年齢は35歳であり、比較的若い社員が多いが、40歳代の社員が極めて少なく、年齢別人員構成にアンバランスが生じている。さらに、平成21年、総菜統括は59歳、営業部長は55歳になり、統括長・部長クラスの幹部層社員（コア社員）においても高齢化は着実に進んできている。

同社では、これまで正社員について、定年60歳、希望者全員を65歳まで嘱託社員として再雇用していたが、モラルやモチベーションの維持、高齢社員が持つ知識やノウハウの確保を理由に、平成21年に定年制の廃止と退職金の上乗せ制度を導入した。併せて雇用形態、就業形態など、制度面の改善も実施し、人材の確保及び年齢に関わりなく働ける職場環境の整備をおこなった。

制度導入の背景および制度の紹介

個人の健康、家族構成、趣味、試行、人生観等の多様化が世間的に進む中で、特に60歳を過ぎると人によってはフルタイムで毎日働くよりもボランティア活動や趣味の時間をもちたいと思う者、健康面での不安から短時間短日数勤務を希望する者も出てくる。そうした社員の多様な考え方に応えられる人事制度の整備が、『社員の幸せなくして、会社の将来（発展）なし』を経営理念に掲げる同社の課題となっていた。

制度の改善点として、定年後も身分は正社員のままとし、60歳を迎えた社員である「高齢社員（シニア社員）」のなかに、フルタイム勤務を行う「高齢正社員」、短時間勤務を行う「高齢短時間正社員」の2つの区分を設けた。従来も運用上は短時間勤務を実施していたが、この改正を機に就業規則にフルタイム、短時間、短日数勤務を就業規則に規定し、制度化を図った。



高齢者雇用の実態

社員の多様な考え方に応えられる多様な就業形態を会社として準備することができたことにより、社員のワーク・ライフ・バランスの実現に繋げる効果が期待される。社員の満足度を高め、さらに、それによって仕事の生産性が上がれば、結果的に会社にメリットをもたらすことができる。

従業員からは、制度が設けられたことにより、自己の健康やライフスタイルに合わせた働き方を選択できるという余裕が生まれた。短時間正社員として働いたとしても、退職金の上乗せがあるため、働けるうちは長く働きたいと考えているといった声が聞かれた。

今後の課題

同社では人口減少のなか、雇用確保する中では高齢者にとってもより働きやすい職場、より働きやすい環境を整備することが今後の方針と考えている。

雇用不安とさげられる中、いかに高齢社員との業務をシェアしていくか、いかに過去のキャリア・知識・技能をいかした業務に就いていただくか、また対お客様という業種のためいかに人事教育していくかが今後の課題である。



就労風景

